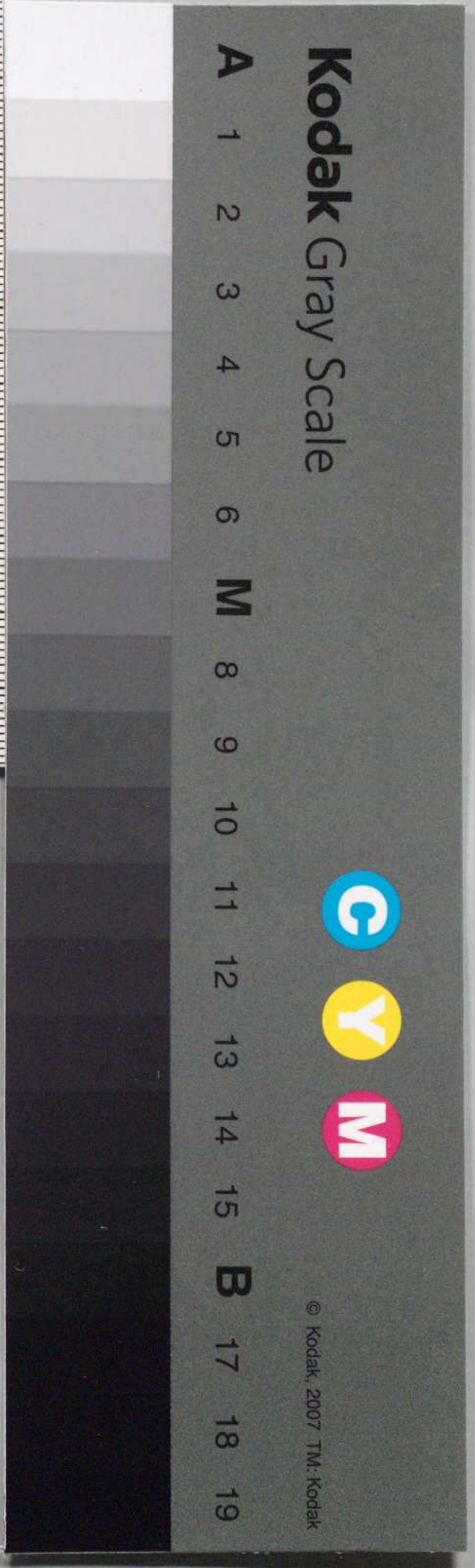
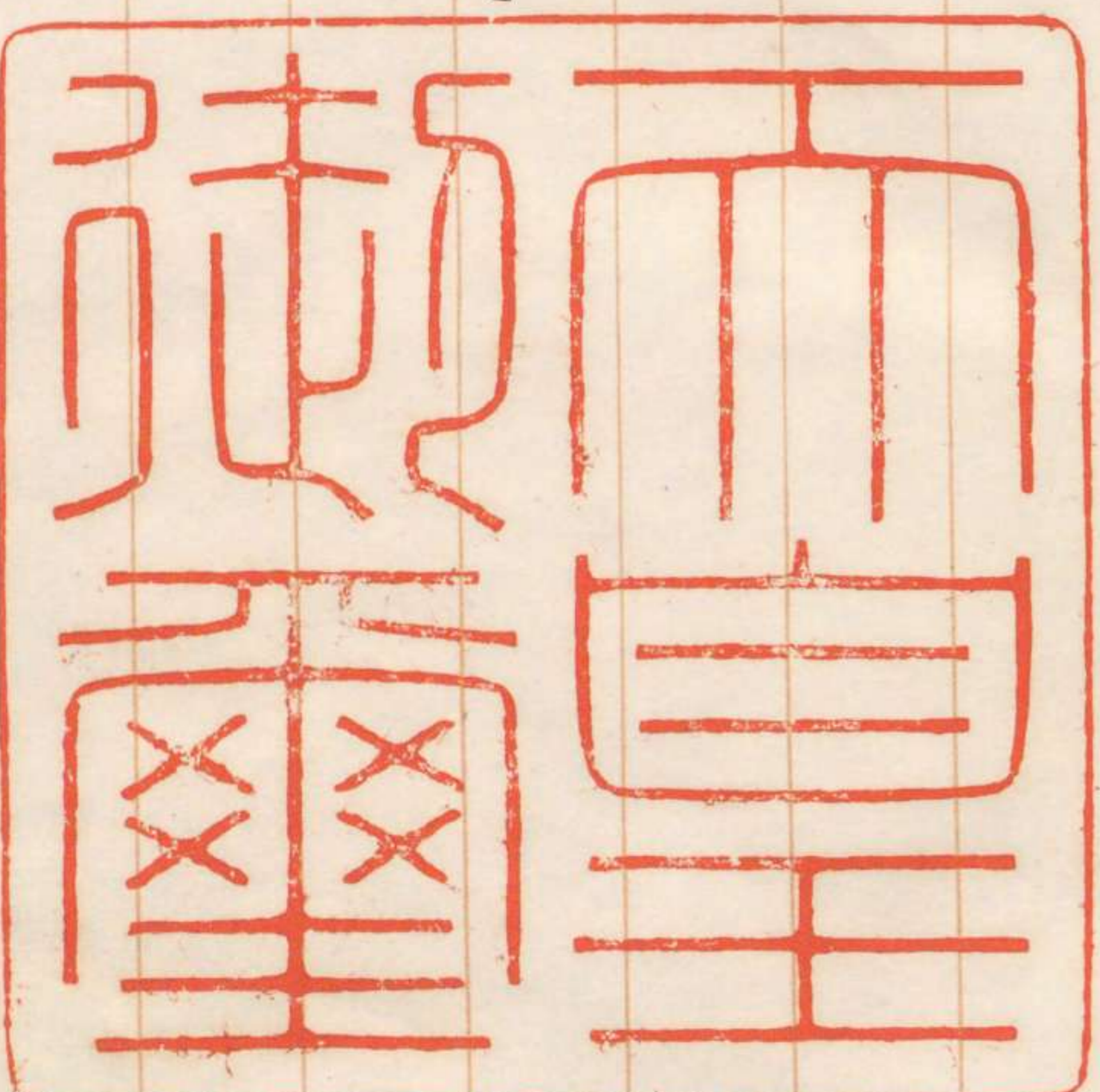


勅令第百四号



朕陸軍大學校條例中改正ノ件ヲ裁可  
シ茲ニ之ヲ公布セシム

睦仁



明治廿一年五月十二日

月

日

内閣総理大臣伯爵黒田清隆  
陸軍大臣伯爵大山巖

勅令第三十四號

陸軍大學校條例中左ノ通改正ス

第一條 陸軍大學校ハ各兵科中少尉ノ  
學術才能衆ニ超ユル者ヲ選抜シ以テ  
軍事諸般ノ教育ヲ完全ナラシメ且高  
等兵學ヲ教授シ將來參謀官高等官衙  
副官及教官ニ充ツルヲ目的トシ並ニ  
高等職務ニ堪ユヘキ學事上ノ基礎ヲ  
修習セシムル所トス

第二條 陸軍大學校ニ左ノ職員ヲ置ク

校長

參謀大佐

一人

幹事

各兵科中佐若クハ少佐

一人

兵學教官

參謀佐官若クハ同大尉

四人

教官

各兵科佐官若クハ同大尉五人監督部上長官若クハ監督補一人軍醫部上長官

若クハ二等軍醫入陸軍教授十二人

課僚

各兵科士官

二人

厩長

騎兵科士官

一人

軍吏

一人

獸醫

一人

教官ハ右定員ノ外他ニ本職アル者ヲ  
シテ兼務セシムルヲ得

第三條 校長ハ陸軍參謀本部長ニ隸シ  
校務ヲ總理シ學術進歩ノ責ニ任ス

第十二條 三項

所管長官ハ候補者ヲ取捨シ候補名簿  
ニ署名捺印シテ毎年六月三十日マテ  
ニ之ヲ參軍ニ進達ス

第十三條 參軍ハ志願者ノ學識ヲ試験  
スル為メ陸軍參謀本部長ヲシテ試験

委員ヲ編成セシメ毎年七月ニ於テ秘  
封ノ問題ヲ所管長官ニ送付シ所管長  
官參謀或ハ次長ノ監視ヲ以テ志願者  
ニ筆記ノ答解ヲナサシム但此試験ハ  
全國同一ノ日ニ行フ其日限ハ陸軍參  
謀本部長時々之ヲ通知ス  
所管長官ハ八月三十一日マテニ其答  
解書ヲ參軍ニ進達スヘシ參軍ハ之ヲ  
陸軍參謀本部長ニ下シ試験委員ヲシ  
テ審査セシム

第十四條

ル所ノ候補  
ニ基キ再審検査  
之ヲ所管長官ニ  
知ス  
長官ヨリ進達ス  
試験委員ノ審査ト  
附スヘキ者ヲ定メ

第十五條

再審検査  
東京外ニ在ル者  
ヲ命スヘシ  
所管長官之ニ出京

第十六條

再審検査  
試験委員ニ命シ  
テ之ヲ行ハシム

第十七條

參軍ハ試験委員ノ呈出スル



委員ヲ編成セシメ毎年七月ニ於テ秘  
封ノ問題ヲ所管長官ニ送付シ所管長  
官參謀或ハ長ノ監視ヲ以テ志願者  
ニ筆記ノ答解ヲナサシム但此試験ハ  
全國同一ノ日ニ行フ其日限ハ陸軍參  
謀本部長時之ヲ通知ス  
所管長官ハ月三十一日マテニ其答  
解書ヲ參軍進達スヘシ參軍ハ之ヲ  
陸軍參謀ニ下シ試験委員ヲシ  
テ審査



第十四條 參軍ハ所管長官ヨリ進達ス  
ル所ノ候補名簿ト試験委員ノ審査ト  
ニ基キ再審検査ニ附スヘキ者ヲ定メ  
之ヲ所管長官ニ通知ス

第十五條 再審検査ヲ受クヘキ者ノ内  
東京外ニ在ル者ハ所管長官之ニ出京  
ヲ命スヘシ

第十六條 再審検査ハ試験委員ニ命シ  
テ之ヲ行ハシム

第十七條 參軍ハ試験委員ノ呈出スル

再審検査成績報告ニ依リ入學ヲ許可  
スハキ者ヲ決定シ之ニ入學ヲ命ス  
第十九條 入學ノ後品行上或ハ學力才  
能上本校ノ目的ニ適セサル者アルト  
キハ校長ノ具申ニ依リ陸軍參謀本部  
長ハ參軍ノ許可ヲ得之ニ歸隊ヲ命ス  
第二十四條 學生ハ進級ノ為メ別ニ學  
術検査ヲ行ハス故ニ實役停年最下限  
ヲ經過シタルトキハ決定候補名簿ニ  
登載スル者トス但其人名ハ參軍之ヲ

陸軍大臣ニ移ス

第二十五條二項三項四項

校長ハ伎倆證明書ニ某職務ニ適任ナ  
ル意見ヲ奥書シ署名捺印シテ之ヲ陸  
軍參謀本部長ニ呈ス  
陸軍參謀本部長伎倆證明書ヲ受ケレ  
ハ校長ノ意見ト本人ノ伎倆トヲ以テ  
參謀官高等副官教官等其適否ヲ審案  
シ之ヲ參軍ニ呈ス參軍ハ之ヲ裁決シ  
テ署名捺印ス

伎倆證明書ハ參軍之ヲ格納シ高等官  
衙副官及シ教官適任者ノ伎倆證明書  
ハ其寫ヲ陸軍大臣ニ移牒ス

伎倆證明書中未畫

「參謀本部長ノ決定」トアルヲ「陸軍參謀  
本部長審按」ト改メ其次ニ「參軍ノ裁決」  
ノ一畫ヲ設ク